

和坂校区まちづくり協議会 11 月度役員会次第

・日時:令和7年11月4日(火)18時30分～

・場所:和坂小コミセン活動室

・司会:中屋 詳子 環境・衛生部長

1、会長あいさつ及び報告事項

2、議題

(1)ウォークラリーについて 報告(文化・交流部)

別紙のとおり

(2)左義長開催について 令和8年1月10日(土)

別紙のとおり

(3)学校・園・厚生館より

(4)各部より

(5)各自治会・町内会、防犯協会、高年クラブ、SC21より

(6)市担当課より

(7)事務局より

(8)その他

3、連絡事項

・野々池みんなの学校 令和7年11月16日(日) 9時～13時 (2時限 10:45 野々池中コミセン室)

・次回三役会 令和7年11月26日(水) 18時30分～ (場所:和坂小コミセン活動室)

・和坂マルシェ 令和7年12月7日(日) 10時00分～ (場所:和坂小北門周辺)

・次回役員会 令和7年12月4日(火) 18時30分～ (場所:和坂小コミセン活動室)

(司会:三浦⁴美枝 健康・福祉部長)

2024年12月3日

自治会長・町内会長

ボランティア団体等代表 各位

和坂校区まちづくり協議会

会 長 久保 登喜子

左義長実行委員会

委員長 安田 政 義

左義長におけるスタッフ派遣要請依頼

冬のひだまりがことのほか暖かく感じられる寒冷の候、みな様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃は和坂校区まちづくり協議会の事業運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、コロナウィルス感染症拡大防止のため中止しておりました、左義長時に行っていた「ふれあい餅つき」を復活致したく関係各位へスタッフの派遣要請を致します。

内容につきましては以前のような規模は無理ではありますので縮小して実施したいと思いをします。

しかしながら縮小しても関係各位の応援なくしては出来ない事業です。ご理解を頂き下記のような内容をお手伝い願います。スタッフの派遣のご協力をお願い致します。

①左義長の組み立て・・・前日と当日仕上げ

②前日準備・・・*養生シート張り

*臼・杵準備

*もち米洗い

*もち箱・蒸し器準備

*かまどの準備

③当日・・・・・・*運動場の設営(テント張り・机・いす)

*もち米蒸場

*餅切り場

*餅つき

*ぜんざい配付担当

*かまどの世話

*豚汁配付担当

*各門での警備と運動場内の安全確認等

以上のような仕事があります。特に餅つきについては慣れている方が少なくなっておりますので経験の有る方がご指導して頂くのは大変有難いことです。よろしくお願いします。

また、スタッフの方々につきましては簡単ですが、お昼ご飯を準備します。

※ ご協力頂ける方は別紙にお名前をご記入頂き事務局へ12月 24 日までにご提出をお願い致します。担当分けをします。



第21回

和坂マルシェ

2025年12月7日(日)

時間: 10:00~11:30 商品がなくなり次第終了!

場所: 和坂小学校北門付近

尚、雨天の場合は和坂小学校体育館の1階で行います。



あかし 楽しむくらぶ	明石文具	キムチ・スパイスカレー 明石ガールズ	手作り弁当 ごはん処うらら	鮮魚の 魚隆
クッキー販売 木の根学園	チャイルド サイクルショップ	手作り雑貨の 西海	手作り雑貨の ななかまど	手作り雑貨の ハンドフレンド
ファミリー & フレンドフェスタ	ブルーメンの パン屋	マドレーヌの 堀江商店	三ツ星蒲鉾 & 野島豆腐店	和坂農会 和坂農家 楽柿舎
キッチンカーの マジカルキッチン	明石市ボランティア サポーター協議会	こころ相談 研修センター	まち協の 果物販売	まち協の キッズ古本市場 おさがり譲渡会

* 諸般の事情により、お店や出品等が多少変更になる場合があります。

* 重い荷物のご自宅までスタッフがお届けさせていただきます・・・ご利用下さい!!

* キッズコーナーを設けています(参加は無料でプレゼント有り) * ペットはご遠慮下さい。

マスクの着用は
個人の判断で!

主催: 和坂校区まちづくり協議会 買い物パートナー委員会

11月の行事予定

<定期教室のお知らせ>

※各教室の実施日、いつでも見学できます。希望される方は厚生館までご連絡下さい。

曜 日	定 期 教 室 名	実 施 日	時 間
月曜日	☆いきいき！元気アップ教室 はばたきの会	10、17	10:00～11:00
火曜日	★卓球教室	4、11、18、25	9:30～11:50
	☆アメリカンフラワー教室	お休み	9:30～11:50
水曜日	☆大正琴	5、19	10:00～11:50
	★3B体操教室	5、19	13:40～15:00
	☆書写・書道教室	5、12、19、26	13:00～14:30
木曜日	☆なかよし会料理教室	20	9:30～11:50
金曜日	★手話教室	14、28	10:00～11:30

《お知らせ》

☆子どもバス旅行 11月1日(土曜日) 姫路科学館&姫路水族館

☆子どもカフェ 11月18日(火曜日) 15:30～16:30

～今日は「勉強会」です～

★子ども支援講座(世代間交流)&子どもカフェ

・子ども料理教室 11月25日(火曜日) 9:30～

～地域の方・館職員とカレーライス・サラダ・カルピスゼリーを作ります～

《12月の予定》

★ちぎり絵教室 12月5日(金曜日) 13:30～来年の干支(馬)を作ります。(材料費 1,200 円)

★男性料理教室 12月6日(土曜日) 9:30～12:00

★女性料理教室 12月11日(木曜日) 9:30～12:00

★鳥羽厚生館大掃除 12月21日(日曜日) 9:00～10:00

★いけばな講座(正月用) 12月22日(月曜日) 13:00～15:00 (材料費 3,300 円程度)

★ふれあいコンサート 12月25日(木曜日) 14:00～ (1時間半程)

Moonglow(ムーングロー)さんによる「クリスマスコンサート」

☆子どもカフェ ①12月23日(火曜日) 14:00～15:30

②12月24日(水曜日) 14:00～15:30

(どちらか1回の参加となります)

★臨時休館のお知らせ★

11月1日(土) 子どもバス旅行のため、11月29日(土) 厚生館フェスのため、臨時休館します。

《図書について》

・鳥羽厚生館では、明石市立図書館より毎月 100 冊の本をお借りしています。

今月の本の入替は 27 日(木)です。貸し出しもしていますのでご利用下さい。

・明石市の図書館(市立図書館・西部図書館・移動図書館)で借りた本が返却できます。

・注！ CD、DVD、ビデオ、大型絵本、紙芝居の返却は厚生館では出来ません。 図書館のカウンターにてご返却ください。

《鳥羽厚生館の図書の貸し出しについて》

・鳥羽厚生館にもたくさんの本があり貸し出しもしています。

1人5冊程度。返却は2週間以内です。借りられる方は職員にお声がけ下さい。



<よろず相談受付> 月曜日～金曜日 10:00～16:00

※相談内容 ①人権 ②福祉 ③生活全般

☆電話でも受け付けています。TEL/FAX (078) 928-1130

☆駐車場はありませんので、ご来館の際は、公共交通機関をご利用下さい。



鳥羽厚生館だより



令和7年
11月号

2025(令和7)年11月1日 No.558

編集・発行 明石市立鳥羽厚生館

〒673-0017 明石市野々上1丁目11-14

Tel・Fax (078)928-1130

急激な温度変化

先月号では「暑さやわらぐ」と書きましたが、それから季節は一気に進みました。

10月の3週目までは半袖で過ごしていましたが、4週目に入ってから急激に温度は下がり、涼しさを通り越して朝夕は寒くなりました。

ニュースによると、インフルエンザの流行は例年12月頃からとされていますが、今年は1か月程流行が早いそうで、予防接種を受けるなら早めが良さそうです。

さて、11月1日は、毎年恒例のバス旅行で、地域の子供たちと姫路科学館と姫路水族館に行ってきます。

参加の申込みは10月11日(土)に受付開始をしましたが、すぐに38名の参加予定人数に達し、参加を諦めていただいた方には大変申し訳ありませんでした。

また、11月29日(土)には、パピオスあかし2階のあかし市民広場で、厚生館フェスティバルを開催します。

市内7つの厚生館が一堂に会し、厚生館の作品の展示や活動内容を紹介します。

子供たちも楽しめるワークショップや無料のゲームコーナーなども用意しておりますので、是非ご来場ください。

鳥羽厚生館 館長 月城 正博

〇〇の秋

長かった夏も終わり、ようやく秋らしくなってきたと言うより、いきなり秋になりました。

秋といえば、食欲の秋、味覚の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋などと様々に言われますが、他の季節では〇〇の夏やら〇〇の冬といった言われ方は、あまり聞いたことがありません。

調べてみると、春は学校や会社の年度初め、冬は正月で一年の始まり、夏は厳しい暑さで、特に〇〇の夏、〇〇の冬といった形容詞を冠する必要がないからといった説もあるようで、要するに秋は気候も穏やかで、何かの始まりや終わりの時期でもない暇な季節だといったところでしょうか。

しかしながら一年間で考えると、冬の年末年始の気ぜわしさから始まり、春は年度替わりで仕事上最も多忙始まる時期を迎え、夏になると厳しい暑さで体力が低下しますが、秋にはようやく過ごしやすい気候となり、自分の周りの環境も安定する頃になります。

何より秋独特の物悲しい雰囲気は、落ち着いた大人の季節と感ぜられるため、個人的には最も好きな季節です。

食欲に関しては、収穫の時期も迎え温かい鍋物などの食事の選択肢も広がり、また、行楽に関しては、バイクでの一人旅に絶好の季節を迎え、いつ休みを取って何処に行こうかとソワソワしています。

いずれにせよ、昨年同様の短い秋を楽しみたいものです。





ちょっと気になったニュース

・ろう学校で“日本手話”による授業受けられず「教育を受ける権利の侵害」訴えるも控訴棄却・・・という見出しが目に入ってきたのは9月中旬。詳しく読んでみると、北海道札幌ろう学校に通う2人は日本手話で学べるクラスに在籍していましたが、途中から日本手話が十分に使えない教師が担任となり、日本手話で授業を受けることができなかったとの事。記事を読むと出てくる“日本手話”と“日本語対应手話”という言葉。ん・・・？違いがよく分からない・・・

そもそも「日本手話」と「日本語対应手話」とは！？

「日本語対应手話」は、文章を書く時の文法に合わせて表現する日本語に合わせた手話です。頭の中に文章があり、それを手話で表現します。話すときに口話と手話、どちらも使う感じだそうです。主に難聴者や中途失聴者に使用され、手話を学ぶ健常者や日本の公立ろう学校の教職員が日本語対应手話を使用する人が多いそうです。「日本手話」は、ろう者の母語です。日本語とは全く異なる言語学的特性を備えています。日本手話は、手や指、腕を使う手指動作だけでなく、非手指動作と呼ばれる、顔の部位（視線、眉上げ・眉寄せ、目の見開き・細め、頬をふくらませたりすぼめる、口型や口の半開き、舌出し、首の傾きや首ふり、あご引き・あご出しなど）が重要な文法要素となっています。

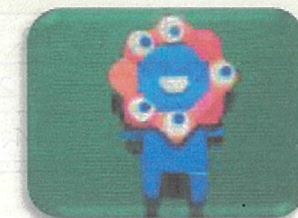
手話を勉強している人が、ろう者同士の手話が読み取りにくい理由はスピードが速いなどの理由のほかにも表現の仕方の違いがあるということが分かりました。今回の記事を通して、手話を少し（本当に少しだけですが・・・）深堀することができました。



厚生館活動報告



9/16 子ども支援講座&こどもカフェを行いました。皆さま、万博には足を運ばれたでしょうか？厚生館でも万博の気分を味わいたく、公式キャラクターのミャクミャクを折り紙で折りました。12名の参加者の内5名が1年生だったため、職員3名が細かく教え完成に50分かかりましたが、無事かわいいミャクミャクを折る事ができました。その後アイスを食べ、おやつを持ち帰りました。



9/25 人権研修会「落語会」で、落語家の林家染太さんをお招きし前半は人権のお話、後半は落語を披露していただきました。人権講和では「落語的コミュニケーション術」として中学時代壮絶ないじめにあった経験から、命の大切さ、差別、幸せについてお話しされました。途中熱く語り涙される時もありましたが、休憩をはさみ、南京玉すだれ、落語を披露されました。参加者の皆さんはプロの落語に拍手されたり、大笑いで楽しい落語会となりました。



9/26 子育て料理教室が行われました。

子育て世代のお母さん達がワイワイお話しをされながら、料理も食事もし楽しんでいました。

メニュー：魯肉飯（ルーローハン）、青菜の炒め肉、
ジャスミン茶ゼリー、もやしとカニかまぼこの中華風スープ





二見西校区

1人の気になる・やってみたいからはじまる取り組み



朝霧校区



錦浦校区

各校区で多様な人が関わるまちづくりが広がるなか、「ちょっと気になる」「やってみたい」の思いから生まれた取り組みが増えています。

そこで今回はそれぞれの取り組みのスタートに込められた思いや工夫をたどりながら、いくつか事例を紹介します。

二見西校区の取り組み

ここでは各校区で進める地域の特徴に合わせたまちづくりについて、広報部が取材した内容を紹介します。



明石市西部に位置する二見西校区は、二見町内の二見小学校区、二見北小学校区の一部を分離して編成されたまちです。最近では、宅地開発が進み、人口が増加しています。

今年4月には、「人と人をつなぎ、人をはぐくむ 楽しい思い出をつくれるまち」をスローガンに、まちづくり計画書・行動計画を策定しました。

新しく地域にきた方も参加しやすい活動を定期的に実施されていると聞き、企画・運営の工夫を「二見西まちづくり協議会」（以下、まち協）の皆さんにお伺いしました。

小さなイベントから広がるつながりの輪

現在、まち協では、3種類の小さなイベントを毎月定期的に開催しています。

「今、ふたみにしがおもしろい！」は、仕事をしながら、多世代交流ができる場として、第3日曜日に開催しています。始めた頃、参加者はまち協会長の家族のみでしたが、口コミでどんどん広がり、今では20人以上の日もありま



▲リピーターも多く、子どもから高齢者まで楽しみながら交流を深めている。

す。「新たなイベントはすぐに人が集まるわけではない。おもしろいと広まるまで、「待ち」の時間も必要」と木原事務局長。常連の子どもたちもいるので、毎回違う作品を作るなど、飽きさせない工夫もしています。

「えほんのじかん」は、毎月第2金曜日に開催。展示されたおすめ本から読書をして、簡単な工作をしています。いつも来ている小学生は、「少人数でゆっくりと本を読めていい」と言ってくれるそうです。ニーズに合った自由な活動になっていることを実感します。

「マルシェの日」はくじ引きや折り紙、茶話会など、気軽に立ち寄れる遊び場で、第1日曜日に開催しています。こうした、誰でも自由に参加できるイベントがきっかけとなり、住民同士の輪が少しずつ広がっています。

活動に関わる人をどう集めているのか

まち協では、活動に賛同してくれる人を「まちづくり委員」として参加できる仕組みを作っています。校区外の人でも参加でき、自分の希望で関わり方を選べるのが特徴です。具体的には、①今ある7つの部会のいずれかに入る、②イベント・行事のお手伝いに助っ人である、③自分の特技を活かして、個人で持ち込み企画を実施するなどがあります。この仕組みがあるため、チラシを見て興味を持った人が「何かできることはないか」と声をかけてくれることもよくあります。

実際、ある部会長は、「スポーツクラブ21で二見西校区と関わるようになり、事務局から『まち協の活動もしてみない？』と誘われ、校区外ながら参加してみた」と話しています。

新たな住民との交流・情報の届け方の工夫

「だれでもwelcome」を合言葉にまちづくり会議を月1回開催し、多くの人の意見を取り入れる場を作っています。事務局からも積極的に住民に声



▲「やってみたい」という声から生まれた「虫部」。虫や自然に詳しい方が虫とりなどを教えながら、楽しむ場に。

をかけ、参加のきっかけを広げています。

若い世代の方にもまち協の活動に興味を持ってもらえるよう、従来の自治会回覧に加え、インスタグラムでも情報を発信中です。

「コミセンが地域の人々の交流拠点となることを目指して」

「楽しい」をキーワードに小さなコミュニティをたくさん作ることを意識し、定例の小規模なイベントを続けています。「小さな会議室のコミセンだが、今後ここが地域の人々の交流の拠点となれば」と山端会長。

各種団体や事業所の活動拠点が二見西校区にあるのであれば、校区外の方でも、活動に参加可能です。この柔軟な受け入れがコミセンに多彩な活動を生み出しています。今後の展開が楽しみです。

若手が中心となって企画 「夏休みのラジオ体操」「親子向け紫外線講座」

参加のハードルを下げようと、
興味をひくチラシを作成。



朝霧校区では、今夏は『7時だ!全員集合ラジオ体操』『親子で学べる紫外線講座』といった、小さく集える事業にチャレンジしています。この企画を担ったのは、現役世代を中心としたサポーターチーム「あすあさ会」と若手住民の有志の皆さん。「私たち世代がもっと地域と接点を持つには?」「顔はみたことあるけど、話したことない同世代っているよね」と会話するなかで生まれたのは、親子で参加できるラジオ体操と夏休み講座です。ラジオ体操は親も出勤前に参加できるよう朝7時から開催。夏休み講座では関心の高いテーマである「紫外線」について、資生堂とシバ化粧品とコラボして開催しました。



資生堂ジャパン（株）・シバ化粧品と協賛で開催。楽しく学べるように、紫外線に反応するビーズでプレスレット作りも。

Point

- 地域と接点をもちたい若手住民が集えるチームをつくったことがキッカケ
- あえて小さな事業をすることで、参加者とまち協、参加者同士が知り合う機会に

明石高専生との連携で生まれた 「防災交流会」「防災ボードゲームで遊ぼう」



明石高専のボランティア団体「D-PRO135」と「防災ボードゲーム」で遊ぶ子どもたち。

「これまでの防災訓練には参加していない住民にもアプローチしたい」、そんな思いから始まったのが、明石高専の防災士グループD-PRO135と連携した防災事業です。昨年12月には高専生が講師役となり、防災講演と防災ボードゲームを体験する「防災交流会」を開催しました。さらに春休みには親子向けに「防災ゲームで遊ぼう」を開催。子どもたちにも防災の重要性を知ってもらいたいと防災を担当する安全なまちチームと、月2回子どもの居場所事業を行う子育てチームが合同で企画しました。当日は高専生も協力し、幼児から小学生まで幅広い子どもたちが楽しく防災を学びました。こうして、高専生と地域住民の新たな交流も生まれました。



月に1回、部会長たちが集まり、それぞれの部会の活動や企画について相談できる場を設けている。

Point

- 他団体と連携することで、活動の幅が広がった
- 部会長が企画を相談しあえる「企画会議」があることで、連携が生まれやすい

まちナビAKASHI

QRコードから、まちナビAKASHI校区別地域情報ページをご覧ください。また、このページから過去の「明石のまちづくり」のアーカイブを読むことができます。是非ご覧ください。



実際に活動されている方へインタビューしました!



子どもも大人もつながる居場所にしたい 「ボードゲームマリーナ」



現在はまちづくりサポーターとして活動。まちづくり計画策定にも関わった。

子どもたちが集える場を作りたいと思い、趣味のボードゲームを活かしたイベントを企画しました。毎回20名ほどの親子が参加し、世代を越えて楽しんでいます。

ボードゲームはあくまでもつながる“きっかけ”だと思っています。この場を通じて、地域の交流を広げることや子どもたちの社会性も育てていきたいです。さらに、この試みから校区全体の取り組みが一層盛り上がってほしいと思います。



▲保護者や地域の方も子どもたちを見守りながら楽しく参加。



まちづくり計画策定の過程で「子どもたちの居場所づくり」が活動のポイントとなった谷八木校区では、今年3月から小学生を対象にしたボードゲームイベント「ボードゲームマリーナ」を毎月開催しています。計画策定後のはじめての取り組みとして、子育て中のまちづくりサポーターが企画しました。

地域に関わるはじめての一步に 「ミニサロン～のんびり楽しむ～大人の習い事」

まちづくりの拠点である小学校内のコミュニティセンターになかなか人が来ず、住民との接点について悩んでいました。もっと気軽に立ち寄ってほしいとの思いでワークショップ型サロンを始めました。

元々ハンドメイドが好きでマルシェにも出店していたことから、活動を通じて出会った方に講師をお願いしたり、特技をもつ住民に声をかけたりして協力してもらっています。数珠つなぎのように人と人が繋がっていくのを感じています。

サロンをきっかけに、他の地域活動にも一歩踏み出してもらえたらうれしいです。

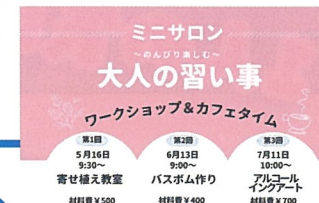


◀テーマに興味をもって初めて参加した住民も。ワークショップ後には、お菓子を食べながらおしゃべりタイム。



地域事務局員。まち協がコミセン運営をはじめたタイミングに入職。

コミセンが地域への参加の入口となる場を目指して、昨年からワークショップとサロンを組み合わせたいイベントを定期開催。コーヒーセミナーやヨガ、フラワールンジメントなど多種多様なテーマで開催し、これまでもつながりのなかった住民との出会いも増えてきました。



全力応援！

あかしまちづくり懇談会

ぶち自慢や
失敗談も歓迎！

私たちのまちづくりエピソード 一校区の取り組みをきいて、話して、考える集いー

2025年

日時：12月20日(土)10:00～12:30

場所：複合型交流拠点ウィズあかし
明石市東仲ノ町6番1号アスパア明石北館8階フリースペース

対象：明石市内で校区まちづくり組織に関わる皆さん
(役員、部会員、地域事務局員、テーマに関心のある自治会長など)



今年の『あかしまちづくり懇談会』は、市内まち協のみなさんが日頃の活動を紹介する発表形式で行います。普段はなかなか聞けない、各校区で進められている特色ある取り組みや活動の工夫やチャレンジ、背景にあるまちづくりへの思いなどを知ることができる機会です。

発表テーマは、「新しい仲間を見つける・増やす・つなぐ」。

イベント・行事での工夫はもちろん、部会やサポーター活動、日常の小さな交流会など、分野や活動の大小は問わず、さまざまなエピソードを通じて、住民の関心づくりや人材発掘につながる取り組みについて一緒に考えてみませんか？

活動発表校区

- ・朝霧校区まちづくり協議会
- ・まちづくり大観地区協議会
- ・花園校区まちづくり協議会
- ・錦浦校区まちづくり協議会

プログラム

- 10:00 開会
- 10:10 市内まち協による活動発表
- 11:55 全体意見交換
- 12:20 講評・振り返り

11月上旬に
詳細版チラシを発行予定



昨年度のまちづくり懇談会の様子

コーディネーター

奥河 洋介氏 株式会社HITOTOWA、西宮市 生涯学習・地域づくりコーディネーター

まちを楽しみ助け合う「ネイバーフッドデザイン」を推進。

小学校区・団地・マンションなどで、近所における共助の仕組みづくりや公共空間の利活用促進に関わる。西宮市浜甲子園、神戸市名谷、大阪府島本町などの現場で、しがらみでも孤独でもないちょうどよい近所の持続的な関係性づくりを模索中。



申込・問合せ

●参加をご希望の方は、別紙「参加申込書」に記入の上、下記問い合わせ先までFAX、郵送等にてご提出いただく他、メール、二次元コードからもお申し込み可能です。



〒673-8686

明石市中崎1丁目5番1号 明石市役所 コミュニティ・生涯学習課

TEL:(078)918-5004 FAX:(078)918-5131 メール:kyodo@city.akashi.lg.jp

共催 明石市連合まちづくり協議会／明石市／一般財団法人明石コミュニティ創造協会

申込締切:令和7年12月5日(金)

あかしまちづくり懇談会 参加申込書

団体名	
-----	--

参加者名

氏名		役職・部会 など	
連絡先			
氏名		役職・部会 など	
連絡先			
氏名		役職・部会 など	
連絡先			
氏名		役職・部会 など	
連絡先			
氏名		役職・部会 など	
連絡先			

用紙が不足する場合は本紙をコピーしてご使用または下記連絡先からもお申込みいただけます。



▲インターネットでのお申込みはコチラから

【連絡・申込先】

明石市コミュニティ・生涯学習課

(担当: 仲宗根・北林・神戸)

TEL: 078-918-5004 FAX: 078-918-5131

E-mail: kyodo@city.akashi.lg.jp